

各施設長殿

心身障害児総合医療療育センター
所長 小崎慶介(公印省略)

第64回 重症障害児(者)医療 看護師 講習会 開催について

標記の講習会を下記により開催いたしますので、ご案内いたします。

医療型障害児入所施設、療養介護施設、医療型児童発達支援センター等、各種療育施設において、障害児(者)とくに重症児(者)のケアに携わっている看護師、准看護師に受講希望者がおられましたら、ご推薦いただけますようお願いいたします。

記

1. 目的 本講習会は、各種の療育施設等で、障害児(者)とくに重症児(者)のケアに携わっている看護師・准看護師に対し、医療的諸問題に関する知識と、それに基づく看護の具体的方法の研修を行い、療育内容の向上を図ることを目的とする。
2. 講習期間 令和5年 9月 14日(木)～ 9月 16日(土)
3. 講習場所 心身障害児総合医療療育センター 療育研修所
4. 定員 40名(1施設1名まで)
5. 受講資格 医療型障害児入所施設、療養介護施設、医療型児童発達支援センター、一般病院等において、重症障害児(者)のケアに携わる看護師・准看護師
6. 受講費 24,200円
7. 添付書類 ① 講習会要綱 別紙(1)
② 講習科目・日程 別紙(2)
③ 受講申込書 別紙(3)
8. 申込方法 受講申込書を令和5年8月17日(木)までにFAXまたは郵送で送付
(先着順に受付、定員になり次第締切)
送付先：〒173-0037 東京都板橋区小茂根1-1-10
心身障害児総合医療療育センター 療育研修所
FAX 03-3959-7648(直通)
9. お問い合わせ 心身障害児総合医療療育センター 療育研修所
電話 03-5965-1136(直通), FAX 03-3959-7648(直通)
ホームページ <https://www.ryouiku-net.com>

別紙(1)

第64回 重症障害児(者)医療 看護師 講習会 要綱

1. 講習期間 令和5年9月14日(木) 9:00 ~ 9月16日(土) 13:00
2. 講習場所 心身障害児総合医療療育センター 療育研修所
住所：〒173-0037 東京都板橋区小茂根1-1-10
交通：東京メトロ有楽町線・副都心線「小竹向原駅」3番出口より徒歩10分。
所要時間の目安は、羽田空港から120分、東京駅から60分。
尚、車 バイクでの通講はご遠慮下さい。
3. 定員 40名(1施設1名)
4. 講習内容 講習会の講習科目、時間数、講師氏名等は 別紙(2)のとおり
5. 経費 1) 受講費 24,200円(消費税2,200円を含む)
2) 宿泊費 1泊 4,950円(消費税 450円を含む)
締切後に送付する「受講承諾書」の金額をお振り込みいただきます。
振込手数料(返金の場合も)の負担は参加者(施設)負担とします。
キャンセル(変更)の場合の返金について
9月12日(火)までの申し出は返金します。以後は返金しません。
6. 宿泊 研修所の宿泊室はシングルルームで17室、計17名が定員です。宿泊を希望される場合は申込書の欄に記載して下さい(各部屋には風呂・トイレはありません)。なお、講習会最終日の宿泊はできません。コンビニは小竹向原駅周辺となります。
7. 食事 14日・15日の昼食は、弁当の注文が可能です。16日は各自でご用意ください。2階食堂に共用の冷蔵庫・電子レンジがございます。食堂での飲食の際は、おひとりずつアクリル板の仕切を設置しておりますが、黙食のご協力をお願いいたします。また、当方で座席は指定させていただきます。尚、研修所周辺には飲食店が少ないのでお持ち頂くことをお勧めいたします。
8. 感染予防について 受講者間の距離の確保のため、受講定員を少なくしています。受付時に体温測定、体調チェックをさせていただきます。発熱、体調不良のある方は御参加いただけませんのでご了承ください。新型コロナウイルスワクチンの3回目接種がすすんでいることが望ましいです。講習会場は十分な換気(二酸化炭素モニターで確認)、テーブル等の消毒を行います。

9. その他

- 1) 期間中を通して受講出来ること、また、受講に際して健康上支障のないこと。
- 2) 講習会初日9月14日(木)の受付は8時00分より9時00分まで。
- 3) 実習を予定しています。参加者同士が密着しないように行います。
また、支障のない服装をご用意下さい。
更衣室があります。※スカートでの実習はご遠慮下さい。
尚、状況により実習を中止しデモンストレーションのみとさせていただく場合がありますのでご了承ください。
- 4) お分かりにならないことは、下記にお問い合わせ下さい。

心身障害児総合医療療育センター 療育研修所

電話 03-5965-1136 (直通) FAX 03-3959-7648 (直通)

メールアドレス : kenshuu@ryouiku.or.jp

第 64 回「重症障害児(者)医療 看護師 講習会」のご案内

心身障害児総合医療療育センター

当センターでは、厚生労働省からの委託により、全国の医療型障害児入所施設、療養介護施設等の職員を対象に、障害児の療育に関連した講習会を開催していますが、その一環として、重症児(者)の医療・療育にたずさわる医師を対象とした短期講習会を開催し好評を得ております。看護師の方々からもこの講習会への受講希望が多かったため、看護師対象の短期講習会も設定し、今年度も下記のように開催します。

会場 心身障害児総合医療療育センター療育研修所 日時 令和5年9月14日(木曜日)～9月16日(土曜日)
 対象 医療型障害児入所施設、療養介護施設、一般病院等において、重症障害児(者)のケアに携わる看護師
 定員 40名 (1施設1名)

テーマ、講師

気管切開管理、誤嚥防止手術 堀口利之(横浜市立大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 客員教授)
 肉芽増生・吸引による気管分岐部出血・障害児では成人より多く生じ致命的となる気管腕頭動脈瘻等、気管切開に伴う諸問題と、対策の実践。喉頭気管分離手術等の誤嚥防止手術。

重症障害児者の呼吸障害、誤嚥、上部消化管障害、経管栄養

北住映二(心身障害児総合医療療育センター 小児科)
 各レベルでの気道狭窄(中咽頭狭窄、喉頭障害、気管軟化症等)、経鼻咽頭エアウェイ法の実践的ポイント等の上気道狭窄への対応法、positioning(姿勢管理)、重症児への陽圧補助換気(蘇生バッグ、カフマシンの)の適用と注意点、気管切開児者へのケアの実践的事項(事故抜去への対応、状態悪化時のバギング等の対応方法)、人工呼吸器療法の留意点

胃食道逆流症・十二指腸通過障害等の上部消化管障害の病態と対応(姿勢管理、薬物療法等)
 誤嚥の病態、経管栄養の諸問題(栄養チューブ挿入困難例への対応、重症児者で胃瘻の注意点、栄養剤・水分等)

ストーマ(胃瘻等)・皮膚管理 佐々木貴代(日本赤十字社医療センター 皮膚・排泄ケア認定看護師)
 胃瘻等のストーマ管理、褥創対策の実践

呼吸理学療法(呼吸介助・排痰介助) - 実技デモンストレーション・実習

今野 有里(心身障害児総合医療療育センター 理学療法士)
 竹本 聡(心身障害児総合医療療育センター 理学療法士)
 タッピングでなく換気介助法を中心とした呼吸理学療法は、気管支肺炎、無気肺、などの急性期治療だけでなく、日常的な呼吸機能維持、排痰、下気道感染予防のためにも有効で、看護師による実施も拡がりつつあります。
 新型コロナウイルス感染防止の配慮をした内容での、実技実習を行います。

予定	9月14日	9:00 - 9:10		オリエンテーション
		9:10 - 12:00	北住	呼吸障害
		13:00 - 17:00	佐々木	ストーマ(胃瘻等)・皮膚管理
	9月15日	9:00 - 12:00	北住	上部消化管障害、誤嚥、経管栄養
		13:00 - 13:45	北住	上部消化管障害、誤嚥、経管栄養
		14:00 - 17:00	今野・竹本	呼吸理学療法(デモンストレーション・実習)
	9月16日	9:00 - 12:00	堀口	気管切開
		12:10 - 13:00	北住	気管切開(補足)

ビデオ「重症児とともに・応用編」(全国重症心身障害児者を守る会監修、全3巻、平成13年)のうち、「呼吸障害への取り組み」と、「誤嚥・胃食道逆流症などへの対策」を、事前に見てきていただくことを、お勧めします。

療 育 研 修 所
第 64 回 重症障害児(者)医療 看護師 講習会
受 講 申 込 書

ふりがな			
1. 氏 名	S・H	年 月 日生	才 男・女
2. 現住所	〒	TEL	宿泊者：携帯
3. 職種	経験年数 () 年		
4. 配慮の必要性「車椅子使用」等			
5. 研修所宿泊の希望 (1部屋1名で使用)			
A) 研修所宿泊希望する 9月 日 から 9月16日13時30分まで () 泊			
B) 研修所宿泊希望しない (通講、個人で用意する事を含む)			
6. 今回の講習会参加にあたっての貴方の課題 (プログラムも参考にご記入下さい。名簿に掲載します)			
7. 請求書・領収書の宛名(無記入は施設名で用意します)			請求書 要・不要

上記の者を受講させたく申し込みます

令和5年 月 日

〒
施設住所

施 設 名

電話番号
Fax 番号

施設長名

印

心身障害児総合医療療育センター
所長 小崎 慶介 殿

(研修所記入) 受付日 _____ 受付順位 _____